

## 施策2-3 新しい時代の学びを実現する学校環境の整備

### ポイント

- 教育ニーズへの総合的対応を含めた未来志向型の学校環境整備
- 人口や財政を考慮した学校の適正規模・適正配置と公共施設との連携による最適化



### 1 施策の方向性

- 時代とともに変化していく学び・働き方に対応するため、将来を見据えた学校環境の整備を行います。
  - ・ 多様で柔軟な学びが展開できる創造的な学習空間
  - ・ 教室に限定されない、学校全体を学びの場として活用する環境設計
  - ・ 将来の教育的ニーズの変化に対応できるフレキシブルな施設設計
  - ・ きめ細かな個別支援と協働学習が両立する場の創出
  - ・ 教職員の働き方改革を支援する効率的で快適な執務空間
  - ・ 児童・生徒の安心・安全を確保しつつ、地域防災の拠点となる学校施設
  - ・ 地域と連携・協働する、地域とともにある学校づくり
  - ・ 環境に配慮した持続可能な教育環境の実現
  - ・ 教科書や参考書などの「教材」、電子黒板や実験器具などの「教具」、机や椅子などの「家具」を含めた、学びの空間の一体的かつ柔軟な整備
  - ・ オンラインと対面のハイブリッド学習に対応できる設備と空間の確保
- 時間や場所に限定されないICTを活用した教育環境の整備と、それを支える高速・大容量の通信ネットワークの構築に取り組み、これまでバラバラに管理されていた学習履歴（スタディ・ログ）、生活・健康面の記録（ライフログ）などを集約・可視化し、データを分析することで、児童・生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導につなげます。データに基づくアプローチで、個別最適化された教育を実現し、学習効果の最大化を図ります。さらに、そうしたデータを、多様な主体と適切なルールの中で共有し、学校以外の多様な学びの推進にも活用していきます。児童・生徒が情報や情報技術を適切かつ安全に活用していくための知識、操作方法及び情報モラルなどを身に付けられる学びの充実を図ります。また、そうしたスキルを身につけていくためには、教員のICTへの理解が重要です。教員がICTを使いこなし、効果的な指導を行えるよう、研修体制の整備や支援員の配置などを行います。
- 学校の適正規模・適正配置について、大規模集合住宅建設を踏まえた児童・生徒数の推計や学校の老朽化、まちづくりによる影響、財政状況などを踏まえるとともに、学校とその他公共施設などの連携・複合化をはじめとした次世代の公共施設や学習空間のあり方を総合的に検討し、区全体で取り組みます。

## 2 施策の成果指標

	項目	基準値	目標値	
		R7	中間 R12	最終 R17
1	学校施設整備の進捗率	0%	50%	100%
2	区立小中学校における過小規模校の割合	4.1%	2.8%	0%

## 3 施策に連なる事業

NO	001	事業	新しい時代の学校づくりの推進(新しい学校づくり課、学校配置調整担当課)		
内容	<p>児童・生徒の学びの質を高めるため、学校施設の老朽化対応と集団としての教育機能が最大限に発揮される規模となるよう、学校の適正規模・適正配置を推進します。さらに、オープンスペースや教科センター方式、オープンな学校図書館など、児童・生徒の主体性をはぐくむ学習空間の導入、他の公共施設との連携・複合化など、教育機能の向上に対応するため、次世代の学習空間のあり方を総合的に検討し整備します。また、老朽化した学校施設の計画的な改築を進め、安心・安全で快適な教育環境を実現し、教育機能の向上を図ります。</p>				
年度別計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
	<p>①適正規模・適正配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正規模・適正配置の検討</li> <li>・学校と公共施設などの連携・複合化の検討</li> <li>・通学区域変更(改築校関連)</li> </ul> <p>②改築・増築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上一中:改築工事(3年目)工事監理・通学支援</li> <li>・志村小・志四中:改築工事(2年目)</li> <li>・板六小:実施設計</li> <li>・板五中:基本構想・計画</li> <li>・向原小:方針検討</li> <li>・板一中:検討・調整</li> </ul>	<p>①適正規模・適正配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正規模・適正配置の検討</li> <li>・学校と公共施設などの連携・複合化の検討</li> </ul> <p>②改築・増築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上一中:改築工事(4年目)</li> <li>・志村小・志四中:改築工事(3年目)</li> <li>・板六小:改築工事1期(1年目)試掘、仮設校舎、工事監理</li> <li>・板五中:基本設計</li> <li>・向原小:方針策定</li> <li>・板一中:検討・調整</li> <li>・板四小:増築設計</li> </ul>	<p>①適正規模・適正配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正規模・適正配置の検討</li> <li>・学校と公共施設などの連携・複合化の検討</li> <li>・通学区域変更(改築校関連)</li> </ul> <p>②改築・増築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志村小・志四中:改築工事(4年目)</li> <li>・志村小:解体・整備設計(1年目)</li> <li>・板六小:改築工事1期(2年目)、仮設校舎</li> <li>・板五中:実施設計</li> <li>・向原小:基本構想・計画</li> <li>・成増小:基本構想・計画</li> <li>・板一中:検討・調整</li> <li>・板四小:増築工事(1年目)解体、試掘、工事監理</li> </ul>		

NO	002	事業	学校の長寿命化改修（新しい学校づくり課）
内容	老朽化が進んだ学校施設を計画的に改修し、児童・生徒の安全確保と学校施設の機能向上、施設の長寿命化を図りユニバーサルデザインを採用した良好な学習環境を整備します。		
年度別計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	①長寿命化改修ほか ・赤塚小：改修工事（2年目） ・志四小：改修工事（1年目） ・板八小：改修工事（1年目） ・板二小：実施設計 ・上二小：基本設計 ②外壁・屋上防水 ・工事：中2校、設計：3校 ③校庭改修：2校	①長寿命化改修ほか ・赤塚小：改修工事（完了） ・志四小：改修工事（2年目） ・板八小：改修工事（2年目） ・板二小：改修工事（1年目） ・上二小：実施設計 ②外壁・屋上防水 ・工事：小3校・中2校 ・設計：3校 ③校庭改修：4校	①長寿命化改修ほか ・志四小：改修工事（完了） ・板八小：改修工事（完了） ・板二小：改修工事（2年目） ・上二小：改修工事（1年目） ・志五中：構想・計画 ②外壁・屋上防水 ・工事：5校、設計：3校 ③校庭改修：2校

NO	003	事業	あいキッズの環境整備（地域教育力推進課）
内容	学校施設の改築・長寿命化改修にあわせ、当該校のあいキッズ施設を改修します。		
年度別計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	①学校改築 ・志村小・志四中：改築工事（2年目） ・板六小：実施設計 ②長寿命化改修 ・赤塚小：改修工事（2年目） ・志四小：改修工事（1年目） ・板八小：改修工事（1年目） ・板二小：実施設計 ・上二小：基本設計	①学校改築 ・志村小・志四中：改築工事（3年目） ・向原小：方針策定 ・板四小：増築設計 ・板六小：改築工事1期（1年目）、試掘、仮設校舎、工事監理 ②長寿命化改修 ・赤塚小：改修工事（完了） ・志四小：改修工事（2年目） ・板八小：改修工事（2年目） ・板二小：改修工事（1年目） ・上二小：実施設計	①学校改築 ・志村小・志四中：改築工事（4年目） ・志村小：解体・整備設計（1年目） ・向原小：基本構想・計画 ・板四小：増築工事（1年目）、解体、試掘、工事監理 ・板六小：改築工事1期（2年目）、仮設校舎 ・成増小：基本構想・計画 ②長寿命化改修 ・志四小：改修工事（完了） ・板八小：改修工事（完了） ・板二小：改修工事（2年目） ・上二小：改修工事（1年目）

NO	004	事業	区立学校におけるゼロカーボンいたばしの推進（新しい学校づくり課）		
内容	SDGsと省エネルギー化推進のため、学校施設のLED化を進めていきます。国は2030年までの全LED化を計画しており、SDGsの推進を掲げている板橋区としても学校施設の体育館などのLED化を推進してきましたが、さらなるLED化を進めます。				
年度別計画	令和8年度		令和9年度		令和10年度
	屋内①（給食室ほか）エリア：9校		屋内①（給食室ほか）エリア：9校		/
	屋内②（教室ほか）エリア：11校		屋内②（教室ほか）エリア：14校		
	体育館エリア：7校		体育館エリア：3校		

NO	005	事業	給食用設備・備品の更新等（学務課）		
内容	学校の改築・長寿命化改修時に給食室をドライ化し、安全で衛生的な学校給食を安定的に維持できる環境を整備していきます。老朽化が進み更新時期を迎えている区立小・中学校の給食用設備・備品を計画的に更新していきます。				
年度別計画	令和8年度		令和9年度		令和10年度
	給食室ドライ化：1校		給食室ドライ化：4校		給食室ドライ化：1校
	給食用設備改修：延14校		給食用設備改修：延11校		給食用設備改修：延7校
	給食用備品更新：延19校		給食用備品更新：延18校		給食用備品更新：延19校
	給食用リース備品一式更新：1校		給食用リース備品一式更新：2校		給食用リース備品一式更新：2校

NO	006	事業	学校におけるICT環境の整備（教育支援センター、指導室）		
内容	ICT機器を活用した多様な学びの充実や、校務や学習に関するデータの分析などにより、児童・生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導につなげるため、必要となる環境の適切な整備及び維持を行います。				
年度別計画	令和8年度		令和9年度		令和10年度
	・学習用ICT機器（一人一台端末、電子黒板など）の管理・運用		・学習用ICT機器（一人一台端末、電子黒板など）の管理・運用		・学習用ICT機器（一人一台端末、電子黒板など）の管理・運用
	・校務系と学習系のネットワーク統合		・統合ネットワークの管理・運用		・統合ネットワークの管理・運用
	・ダッシュボード機能 <sup>34</sup> の設計・構築、運用開始		・ダッシュボード機能の活用及び連携機能の充実		・ダッシュボード機能の活用及び連携機能の充実

34 校務や学習に関するデータや情報を視覚的に表示するツール

NO	007	事業	学校プールのあり方を踏まえた環境整備（教育総務課、指導室、新しい学校づくり課、学校配置調整担当課）		
内容	持続可能な水泳授業に向け、学校施設整備を最適化するため、条件が整った学校から、区立プールや民間施設などを活用した水泳授業を推進します。				
年度	令和8年度		令和9年度		令和10年度
別 計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区立プールの活用拡充（継続2校・新規1校）</li> <li>・民間プールの活用に向けたモデル校と民間事業者との調整</li> <li>・改築に合わせた学校プールの拠点校化に向けた準備</li> <li>・天候等対策検討・実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・区立プールの活用（継続3校）</li> <li>・民間プールの活用における試行実施（1校）。他の地域の可能性調査・検討</li> <li>・改築に合わせた学校プールの拠点校化に向けた準備</li> <li>・天候等対策検討・実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・区立プールの活用（継続3校）</li> <li>・民間プールの活用における本実施（1校）。他の地域の可能性調査・検討</li> <li>・改築に合わせた学校プールの拠点校化に向けた準備</li> <li>・天候等対策検討・実施</li> </ul>

### コラム⑧：これからの学校環境に求められること

板橋区の学校施設は、およそ80年という長い期間にわたって使用されます。これは、ビジョンの計画期間である10年をはるかに超える時間軸です。だからこそ、私たちには未来を見据えた長期的な視点が求められます。

検討委員会では、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実など、教育界の大きな変革が起こる中で、これからの学校は、子どもが主体的に選択できる「多様な選択肢のある環境」が重要となるといったご意見がありました。

一方で、児童・生徒が主体的に選択できる環境をハードの側面から整えるだけでなく、その施設をどのように活用していくかといったソフト面の重要性についても議論がなされました。児童・生徒の主体性を尊重することは非常に大切ですが、その実現には、自由と安全管理の両立に難しさがあるといった現場の声も聞かれました。教員の目が届かないところで、事故が起こるリスクもあるため、そうした点も考慮に入れた運用が求められるのです。

さらに、そうした課題に対して、児童・生徒を見守るための地域の協力や、校内に教職員や児童・生徒、地域住民が交流できるスペースを設置することなど、学校と地域の連携を促す取組の必要性についての言及もありました。

学校は、単なる建物ではありません。児童・生徒の未来をはぐくむ場所であり、地域全体で支える必要があります。教職員、保護者、そして地域住民が一丸となって、児童・生徒の成長を見守り、支援する、そんな信頼に満ちた環境こそが、これからの学校施設に求められるのです。



図35 「『学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について（文部科学省）」（令和4年3月）」より抜粋

## コラム⑨：新しい学校づくりを進めています

学校施設の老朽化への対応として、区立小中学校を改築・改修し、より充実した学校生活を送るための施設整備を進めています。ここでは、区立小・中学校の魅力ある機能を紹介します。

### 1 オープンな学校図書館

オープンな学校図書館とは、児童・生徒が行き来するオープンな空間に本棚を設置する学校図書館のことです。学校図書館が常に開かれていることで、児童・生徒が本にふれる機会が増加し、本への興味や関心が深まるなどの効果が見込まれます。



### 2 教科センター方式（中学校）

授業を「教科教室」という各教科の専用の教室で実施し、教材や展示物を設置できる「教科メディアスペース」が設けられています。教科教室には、「ホームベース」という生徒各自のロッカーが設置された部屋が隣接しています。教科センター方式により、生徒の主体性や、時間を意識する習慣がはぐくまれるなどの効果が見込まれます。

これまでに、中学校3校（赤塚第二中学校、中台中学校、上板橋第二中学校）で導入してきたほか、現在整備を進めている中学校2校（上板橋第一中学校、志村第四中学校）においても導入を予定しています。



### 3 オープンスペース（小学校）

オープンスペースとは、学級単位の活動を超え、多様な用途に活用できる空間のことです。授業中にグループワークや発表を行う場として活用できるほか、休み時間の遊び場として、児童の居場所の選択肢を広げることにつながります。

これまでに、小学校10校（北前野小学校、富士見台小学校、板橋第七小学校、北野小学校、金沢小学校、加賀小学校、赤塚新町小学校、大谷口小学校、板橋第一小学校、板橋第十小学校）に導入してきたほか、現在整備を進めている小学校2校（志村小学校、板橋第六小学校）においても導入を予定しています。



#### 4 環境に配慮した学校設備

屋上緑化や太陽光発電を導入する他、断熱性に優れた建材や、効率の良い空調設備を導入するなど、環境負荷を低減する取組を行っています。



#### 5 地域連携の充実につながる学校設備

「魅力ある学校施設」の要素の一つとして、「学校と地域の連携」を掲げ、地域住民と児童・生徒が日常的に交流しやすい教育環境の実現に努めています。上板橋第二中学校の「上ニテラス」では、ボランティア団体と学校が協働してフードパントリー活動などを行っています。



#### 6 学校整備におけるユニバーサルデザイン

改築・改修を行う際に、誰もが使いやすく、快適に過ごすことができるよう、バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した学校施設の整備を積極的に進めています。



### コラム⑩：すべての児童・生徒の力を最大限に引き出すために－教育データの利活用－

児童・生徒の学習状況や生活実態、学校運営に関する情報を収集・分析し、教育改善に生かす取組として教育データの利活用があります。

学習履歴などや出欠席の記録、健康情報、ICT活用状況などを活用することで、学習到達度や課題を把握し、個々に応じた支援や指導改善につなげることができます。その中心的な役割を担うのが教育ダッシュボードであり、複雑なデータを一元化し、グラフや表で分かりやすく提示することです。

教育ダッシュボードとは、どのようなものかといいますと、車のダッシュボードを思い浮かべていただきたいのですが、車のダッシュボードは速度や燃料、警告灯など運転に必要な情報を一目で示し、安全で効率的な運転を助けるようになっています。

教育ダッシュボードも学力、出欠、生活状況など教育に関わる多様なデータをまとめて表示し、児童・生徒の状況を「見える化」することで早期発見や個別ケアを行うなど、一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導やサポートにつなげることが可能となり教員の負担軽減にもつながります。